

世田谷市民大学 2023年度 第1回公開講座

神宮外苑再開発とヘリテージ・アラート ～文化遺産の危機～

講師：石川 幹子

中央大学研究開発機構・機構教授
東京大学名誉教授

2024年
1/13 (土)
13:20 - 15:30
(開場 13:00)

入場無料
手話通訳あり



石川 幹子 プロフィール

東京大学農学部卒業、ハーバード大学デザイン学部大学院修士課程修了、東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了（農学博士）
慶應義塾大学教授、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授、中央大学理工学部人間総合理工学科学科長をへて、現職。
日本都市計画学会論文賞、土木学会デザイン最優秀賞、みどりの学術賞。
『都市と緑地』（2001年岩波書店、都市計画学会論文賞受賞）、『流域圏プランニングの時代』（2005年共著、技報堂出版）、『グリーンインフラ：地球環境の持続的維持をめざして』（2020年中央大学出版部、日本造園学会著作賞受賞）

会場

せたがや がやがや館 4階多目的室
(池尻2-3-11)

対象

18歳以上の方 区内在住・在勤・在学者

定員

80名 (事前申込制 先着順)

お申込み

2023年12月1日(金)～15日(金)

せたがやコール TEL 03-5432-3333

午前8時～午後9時まで年中無休 FAX 03-5432-3100



市民大学HPからも
お申込みいただけます。

お問合せ 世田谷区 市民大学・生涯大学事務局
(平日午前8時30分～午後5時)

TEL 03-3412-3071

※2023年12月28日(木)～2024年1月4日(木)はお休みさせていただきます。

神宮外苑再開発とヘリテージ・アラート ～文化遺産の危機～

講師：石川 幹子

中央大学研究開発機構・機構教授
東京大学名誉教授

講師による講座の概要

東京の神宮外苑は、大正期に、国民の献金・献木・勤労奉仕により作りだされた世界にも例のない、都心の大規模公園です。内苑の森が、「森厳荘重」の森として国費により創り出されたのに対して、外苑の森は「公衆の優遊」、人びとのくつろぎの庭園として創り出されました。

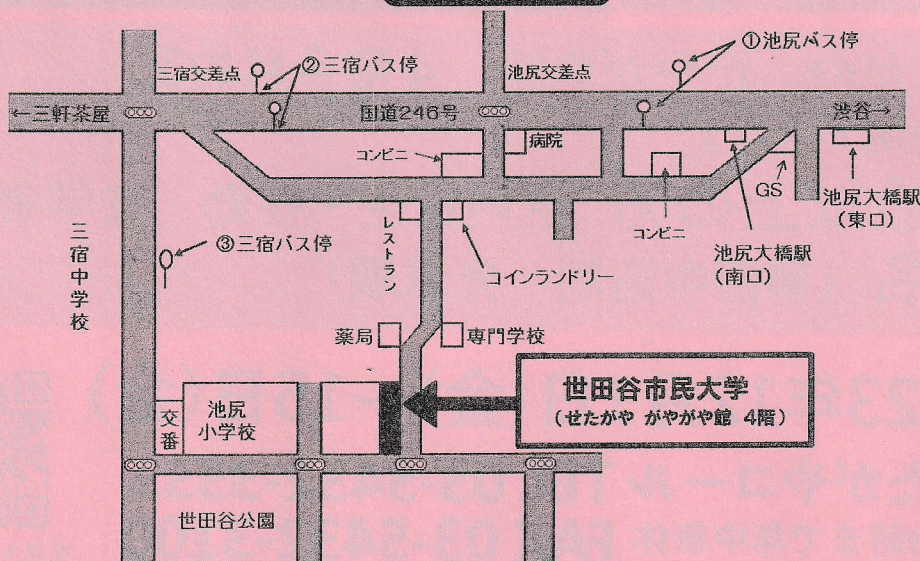
今般、「公園まちづくり制度」という都市計画公園内に市街地再開発事業を行うことを可能とする前代未聞の制度が、東京都により立案され、明治公園が3.4 ha削除され、再開発促進区の導入により、3棟の高層ビル、秩父の宮ラグビー場と神宮球場の入れ替えによる建設が決定され、施工が始まっています。

これにより3000本以上の樹木が伐採され、近代公園の名作である神宮外苑は、その命脈を絶たれることとなります。

このような文化的遺産の危機に瀕して、国際記念物遺跡会議(ICOMOS)は、「ヘリテージ・アラート」を発しました。

世界の人びとの眼が東京に注がれています。私たちは、文化遺産を守り継承していくことができるのか、市民が公園を利用する権利を、永久に不可能にする制度を、「合法的制度である」と認めることができるのか。民主主義の原点を、皆さんと考えていきたいと思います。

会場案内



《電車》 東急田園都市線 「池尻大橋駅」東口から徒歩約8分

《バス》 【渋05】 【渋11】 【渋12】 【渋21】 【渋22】 【渋24】
【渋26】 【渋31】 【渋32】 【渋33】 【渋82】 【都立34】

①「池尻」または②③「三宿」から徒歩約7分